



社会医療法人  
同仁会  
Dojinkai  
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

# 同仁会報みみはら

2019年2月1日発行

第76号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2  
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL <http://www.mimihara.or.jp> (同仁会HP)

## みみはらグループ 新年集会 2019

みみはらグループの総力を結集し、無差別・平等の医療と介護  
住み続けられるまちづくりへ 新たな一步を踏み出そう！

1月12日、堺市立西文化会館ウエスティで、みみはらグループ  
新年集会が行われ、職員や友の会会員、来賓をあわせ280人が  
参加しました。オープニングは、玉城流扇寿会による琉球舞踊が  
披露され、新年らしく華やかな始まりとなりました。

齊藤理事長のあいさつでは憲法  
を守り、軍事費でなく社会保障の  
充実をとの声を上げていくことが  
語られ、また医療・介護の質を上  
げていくためにもコミュニケーション  
の重要性が強調されました。

友の会の江戸会長からは「今年  
は選挙の年、自分の意思を示すた  
めにも必ず投票に行こう」との呼  
びかけがありました。また、来賓  
を代表して辰己孝太郎参議院議員  
からあいさつをいただきました。

今年の新年集会には、みみはら  
グループが最も重要としてきた価  
値観である「人権」を、視点を変  
えて捉えなおす機会と位置付け、  
LGBTなどの多様な性のあり方  
が当たり前に尊重される社会の実  
現をめざして活動されているNPO  
法人QWRC（くわーく）代表  
の近藤由香さんをお招きしまし



NPO法人QWRC代表 近藤由香さん

た。LGBTに関する基本的な知  
識をはじめ、いじめや不登校、就  
職や雇用における壁などの多くの  
社会問題にも関係していることな  
ど具体的でわかりやすく講演して  
いただきました。

一人ひとり違うことがわかって  
いるつもりでも、「普通」や「多  
数派」という意識がLGBTの心  
とたちを苦しめている要因になっ  
ていること、同時に性のあり方で  
苦しむ人がいて、社会がまだまだ  
その人たちを苦しめていることを  
知ることができ、人の数だけ多様  
性のあり方がある社会が、無差  
別・平等の理念にもつながるとい  
う新たな学びの場になりました。

穴井専務の基調報告では、国連  
開発計画など世界的な非核・平和  
の流れや辺野古新基地反対の運動  
が広がりを見せているなど、市民  
が政治を動かす時代を迎えている  
ことに確信を持ち「2019年を  
憲法を守り、患者・利用者を守る  
新たな前進の一年に」との展望が  
語られました。また、みみはらグ  
ループの歴史と流れを紹介、昨年  
11月に「みみはらグループ運営協  
議会」を結成された  
ことを報告し、平和  
・人権を尊ぶみみは  
らグループとしてそ  
れぞれの力を結集し  
「住み続けられるま  
ちづくり」をめざそ  
うと呼びかけまし  
た。



あいさつする齊藤和則理事長



玉城流扇寿会のみなさん

新年集会は、みみ  
はらグループひまわ  
り会・岡本裕宏理事  
長より閉会のあいさ  
つをつけ盛会のうち  
にお開きとなりまし  
た。

※QWRC（くわー  
く）ホームページ  
<https://qwrc.jp>  
jindo.com/

### こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより

#### 病院機能評価で高レベル評価



受審の風景

〒590-8505  
堺市堺区協和町4-465  
TEL 072-241-0501(代)  
FAX 072-244-3577

「病院機能評価」とは、病  
院を対象に行われる第三者評  
価制度の事で、「組織運営は  
適切に行われているか」「安  
全な医療を提供する仕組みが  
整っているか」等、4つの領  
域89の評価項目で、中立的・  
科学的・専門的な立場から総  
合的な評価が行われます。審  
査はS・A・B・Cの4段階  
で行われ、特にSは「秀でて  
いる」として、他院の模範に  
なるような優れた取り組みに  
対して付与されます。

耳原総合病院は2003年  
からこの受審にとりく  
み、昨年10月に3回目  
の更新審査を終えまし  
た。今回の審査では、  
前回受審時には1つも  
獲得できなかったS評  
価を11項目で取得でき  
ました。これは当院の  
提供する医療の質が、  
全国の病院の中でも高  
いレベルにあるという  
ことを示しています（  
特に高評価だったの  
は①近隣医療機関か  
らの紹介患者を迅速に

受け入れる体制や緊急手術受  
け入れ体制の整備など地域の  
医療ニーズに柔軟に対応する  
病院運営 ②健康増進に関す  
る年70回以上の公開講座、熱  
中症訪問や子ども食堂での防  
煙教室など地域に向けての高  
いレベルでの健康増進活動の  
とりくみ ③年間5000台  
以上の救急車受入れをはじめ  
「無差別平等の医療」の理  
念で困難事例でも積極的に対  
応し、地域の救急医療の皆と  
なっていること、などでした。

外部評価には、気づきが与  
えられるだけでなく、職務への  
自信や誇りが生まれ、さら  
なる改善への意識付けが高ま  
るという効果が得られます。

受審にあたり、これまで問題  
意識を持ちながらも未着手だ  
った運用整備や組織横断的な  
ルールは是正に対し、病院が  
一致団結してとりくめたこと  
も一つの成果となりました。

「認定継続」を目標とせず、  
常に高いレベルの医療を提供  
できるよう研鑽を重ねていき  
ます。（耳原総合病院  
品質管理部 中田 直子）